

熊本高専
熊本キャンパス
図書館だより

第30号

2019年2月発行



表紙・目次……………p.1
最優秀賞感想文……………p.2
校内読書感想文コンクール
入賞作品……………p.3



ブックハンティング
おすすめ本……………p.4-5
“科学”について、
最近読んだ本から……………p.6-7



日本歴代ベストセラー
ランキング……………p.8-9
編集後記……………p.9
図書館統計データ ……p.10

くぬぎの森



校内読書感想文コンクール 入賞者
前列左から小嶺さん・松永さん・上土井さん・大塚さん
後列左から坂田さん・佐藤さん・園田さん

(平成30年校内読書感想文コンクール表彰式にて)

図書館の開館時間 & 貸出詳細

曜日	対象期間	時間
平日	4～9月	8:30～20:00
	10～3月	8:30～19:00
土曜	4～3月	12:00～17:00
日曜 祝日	終日閉館	

種類	借受者	貸出期間	貸出冊数	備考
一般 貸出	教職員	2週間	5冊以内	
	学生			
	一般			
長期 貸出	学生	長期休業 期間	10冊以内	教育及び研 究に必要な 資料に限る
	教職員	2か月		
	卒業研究特 別研究用			

平成30年度校内読書感想文コンクール 最優秀賞感想文

羊と鋼の森を読んで

CI5 小野原 真子

昔の記憶を呼び覚ますのは些細なきっかけだったりする。誰もが「あんなことあったな」という感情を持ったことがあるだろう。学校や仕事、毎日の生活を成立させることに追われると、小さい頃の思い出や夢はかき消されてしまう。でもそれらは消えていたのではなく、ずっと変わらず心のどこかにあったのだと気づく。この本は、忘れていた昔の記憶をふと呼び起こさせる作品であった。

音楽経験が全くなかった主人公の青年外村は、偶然学校のピアノの調律と立ち会う。そのとき、ピアノが森の景色を奏でているような錯覚にとらわれる。魅せられた外村は調律師になり地元の楽器店で働く。ピアノは、指で鍵盤を押すと、羊毛で作られたハンマーが鋼の弦を叩く仕組みだ。しかし、決して一言で表せる単純な構造ではない。指の動きをハンマーに伝えるまでに約六千、弦やペダルなどその他の部分に約二千、合計八千もの部品がからくり時計のように咬みあい音を奏でている。調律師によるピアノの点検項目は鍵盤一つにつき数十か所、八十八鍵またそれ以外全て含めると六千にもなる。山奥を歩き回り一本だけ眩く輝く大樹を見つけるように、何時間もかけて膨大な数の部品を触り、美しく共鳴する音に調節する。まさにピアノは生き物であり、羊と鋼の森だ。

私とエレクトーンとの出会いは劇的なものではなかった。気づいたら音楽が身近にあって、暇があれば弾いて楽譜と向き合い、改善点を見つけては試行錯誤して。音楽は様々な感情や情景を表現豊かに表せ、何百年も昔の人の境遇や心情を楽譜から読み取れ、そういう無限の表現ができるところに魅せられてどんどん音楽にのめりこんだ。気づけば音楽を始めてから二十年が経とうとしている。

しかし、それら壮大な音楽といざ向き合えば一人きりの世界だ。演奏会でどんなに大きな舞台に立っても、自分の指が動かない限り音はならない。誰がどんなに応援してくれていても、結局は自分の意志で弾き切らなければならない。冷めたようで重大な真実が、数年前のコンサート中、頭を過ったことを思い出した。その日の私の演奏は思い出して恥ずかしくなるほど酷いものだったの

を鮮明に覚えている。それを機にコンクールに出るのをやめ、趣味として音楽と向き合うことにした。

自分の身の程をわきまえることは重要である。例えば、50ccのバイクにしか乗ったことのない人が突然ハーレーに乗ろうとしても、うまく乗りこなせるとは限らない。誰にでも最上級のものが与えられれば最高のものを生み出せるか、そうではない。しかし、50ccのバイクもハーレーもそれぞれに良さがあり需要がある。コンサートで苦い思いをしたとき音楽を趣味としていこうと決めたのは、自分の実力不足を認めた故の判断だったのだと数年たった今気づかされる。

その後ある日の事、友人から編曲の依頼をされた。曲のイメージも構成もすべて任され数カ月かけて完成させたものを聞いてもらったとき、驚くほど喜ばれたのを覚えている。音楽の醍醐味はここにあるのだと感じた。精一杯の気持ちで演奏される音楽は、どこで弾こうが何のために弾こうが比べることができない。それぞれに価値がある。外村は「僕にもっと才能があれば。奇跡の耳や奇跡の腕があれば。」と悩んでいた。音楽経験のない外村は、自分には調律師は向いていないのではないかと考えていた。しかし幼い頃から自然豊かな森の木々や花々と共に過ごしてきたことで、ピアノの音に関しては確かな感覚を持っていた。ピアノが木や自然の産物からできているからだ。自分の潜在的な力に気づき力を伸ばすのに時間がかかっただけなのだ。私も同じように悩んでいた時期があったが、今はそうは思わない。演奏が上手い人は上手い、下手な人は下手だ。でも、感性という点においては誰も口を挟むことはできない。そこに違いがあるからこそ豊かな音楽と人間性が生まれる。わかる人にはわかる、わからない人にはわからないのだ。一日一日をこなしているとそういう肝心なことさえ忘れてしまう。

「何かをするには一万時間かければ形になる」らしい。私は一万時間以上をかけたが、ようやく音楽の真髄の端っこを掴むことができた気がする。「才能っていうのはさ、ものすごく好きだっていう気持ちなんじゃないか。どんなことがあっても、そこから離れられない執念とか、闘志とか、そういうものと似てる何か。」と、外村の上司柳は述べる。技術も重要だがそれと同等に求められるものがある。実力がないからといって何かを諦める必要はないのだ。音楽に関していえば、何度演奏しても一番いいと言える演奏はない。次はもっとより良いものを、というように無限に上を上を目指していく。私も「夢のように美しいが現実のように確かな」演奏を目指していきたい。この本を読み終わって気づいた。私自身も、深い森の中を歩いていたのだと。

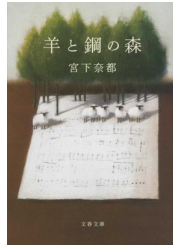
校内読書感想文コンクール入賞作品

【最優秀作】

羊と鋼の森
を読んで

CI 5

小野原 真子



【優秀作】

「きよしこ」を
読んで

2年1組

上土井 茜



【優秀作】

ステップ

1年3組

大野 聖剛

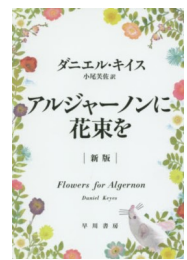


【優秀作】

本当の幸せとは

1年1組

松永 乙夏



【佳作】

悪魔は悪か？

2年1組

大塚 拓巳



【佳作】

「永遠の0」から
学んだこと

1年2組

小嶺 龍生



【佳作】

余命十年

2年1組

園田 花瑠菜

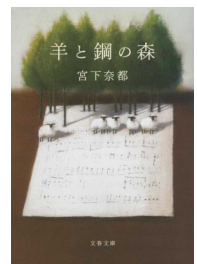


【佳作】

「羊と鋼の森」
を読んで

2年3組

佐藤 友紀



【佳作】

「遮光」を読んで

HI 4

坂田 将樹



入賞者には副賞として、

最優秀作 : 賞状及び図書券(10,000円)

優秀作 : 賞状及び図書券(6,000円)

佳作 : 賞状及び図書券(3,000円)

が贈られました。

ブックハンティング おすすめ本

今年度もブックハンティングを行い、たくさんのお本を選びました。このページでは、先生方&図書委員で選んだ本の中から、「これがおすすめ!」というものを厳選し、図書委員が書いた紹介文とともに掲載しています。興味を持った方は早速図書館で借りてみてはいかがでしょうか。

パケ買いしたくなる! ヒット商品のデザイン

PIE BOOKS



カラフルで、眺めているだけで楽しくなる本です。見たことのあるパッケージも紹介されています。デザインの勉強にもおすすめです。

新 理系の人々

よしたに



理系の人間なら「あるある!」と言ってしまいそうな出来事が漫画で描かれています。高専生の皆さんにおすすめです。

ぐでたまの「資本論」

朝日文庫編集部



ゆるくて可愛らしい表紙ですが、お金のことを哲学的に考えるきっかけになる一冊です。難しそうな話も、ぐでたまのイラストとともに簡潔に説明してあります。

絶滅生物図誌

チョーヒカル



絶滅した生物についての図鑑です。「こんな生物がいたんだ」と、過去に思いを馳せてみませんか。

英語でゾクゾクする ちょっと怖い話

ちょっと怖い話製作委員会



英語でちょっと怖い話を読んでみませんか? 背筋をぞくぞくさせながら英語を学びましょう。

幸せになりたければ 猫と暮らなさい

かばきみなこ 監修
樺木宏 著



猫が好きの人、猫を飼っている人にぜひ読んでもらいたい一冊です。この本の著者自身も、七匹の猫と暮らしている、猫を飼っている人なら納得できるようなエピソードが楽しめます。

万引き家族

是枝裕和



昨年、映画が話題になった本です。いろいろな家族の在り方を考えさせられる一冊です。映画を見た方もそうでない方も、ぜひ一度読んでみてください。

ピクトさんの本

内海慶一



街中でよく見かけるピクトグラムについて紹介してある本です。普段目にするタイプのものや、ちょっと珍しいものまで載っています。外に出て探してみるのもいいですね。

かがみの孤城

辻村深月



2018年の本屋大賞に選ばれた本です。不登校の主人公が鏡の中の世界で仲間たちに出会い、物語が展開されていきます。大人も子供も読みやすい、感動の一冊です。

青くて痛くて脆い

住野よる



『君の脾臓をたべたい』や、『よるのばけもの』を書いた住野よるさんの本です。青春を感じたい人におすすめの一冊です。

ファーストラヴ

島本理生



第159回直木賞を受賞した本です。一人の女子大生が父親を殺してしまうところから物語が展開されていきます。最後まで目が離せないストーリーです。なぜ女子大生は父を殺してしまったのか、気になる方は是非読んでみてください。

おひとりさまの ゆたかな年収200万円生活

おづまりこ



賢い節約術を学べる本です。生活費を削りながらも、快適に暮らす方法が満載です。一人暮らしをする時に読むと役に立つかもしれません。

マンガでわかる 新しいランニング入門

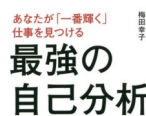
中野ジェームズ修一



マンガでランニングのコツを楽しく学ぶことができます。運動が苦手な人も、この本を読めばランニングに挑戦したくなるはず。

あなたが「一番輝く」仕事を見つける 最強の自己分析

梅田幸子



これから就活を始める方にも、まだの方にもおすすめしたい一冊です。自己分析をすることで、新しい自分を見つけることができるかもしれません。

“科学”について、 最近読んだ本から

図書館長 村上 純

図書館で年に二回行っているブックハンティングの二度目は担当ではなかったが、時間があつたので書店に顔を出してみたら、新刊書で目に留まったものがあり購入して読んだ。それは『宣教のヨーロッパ-大航海時代のイエズス会と托鉢修道会』（佐藤彰一著）という本（この著者の本は同じ中公新書の『禁欲のヨーロッパ-修道院の起源』も読んだことがある）で、宗教改革から“大航海時代”以後の新大陸やアジアへのキリスト教布教までを取り扱った興味深い内容であった。その最終章「キリスト教の世界化」に、「ラテン語の世界化は『西洋化』と『グローバル化』との関連を明らかにしている」という文章があつて、大西洋を越えた書物や大学教授の移動、ラテン語とギリシャ語の普及、修道院学校や大学等の開設などが地方の知的伝統を改変・消滅させて、西洋化推進が進んだという。あるイエズス会士はメキシコの大学でアリストテレス哲学を講じたともある。アリストテレス哲学はスコラ学の形式で流布し、それは「認識の三段階、すなわち直感的理解、ついで分析的判断、最後に論証にいたる論理的思考の営みの精神を涵養する」ものであつたそうだ。この部分を読んだとき、以前ある講演で聞いた話のことと、昨年読んだ一冊の本のことを思い出したので、この二つについて書いてみたい。

まず講演は病理学に関するもので、その冒

頭に“科学”の“科”という文字は“分ける”という意味であるという話があつて、それは情報“科学”（computer science）の研究者の端くれである私に科学史への興味を喚起させた。“分析”などのように“分”の付く言葉は、“分ける”ことによって“分かる”のだろう。そして、そのような方法を突き詰めて行った結果として、現代の素粒子や遺伝子に行き着いたのだろう。

免疫学者だった多田富雄氏はエッセイストとしても知られ、私は『ビルマの鳥の木』と『懐かしい日々の想い』を読んだことがある。後者は今年、古書店のワゴンにあつたのを買って読んだ。その第四章「医療と科学と文学の狭間」に「^{スーパー}超システムの生と死」という題名の文章があり、そこには「要素還元論と呼ばれる近代科学の方法は、高次の自然現象、たとえば生命活動や精神現象を、より低い階層でのできごとの集成として説明しようとしてきた」とある。しかし、「階層を超えることによって作り出される新しいルールを理解してゆくことなしには、生命論は成立しない」と同氏は警鐘を鳴らしていた。

次に、思い出した本は去年読んだ『図説 科学で読むイスラム文化』（H.R.ターナー著、久保儀明訳）で、図版もあつて印象に残っている。それには、エジプトやバビロニアで五千年も昔に発達した“科学的な探求のプロセス”は古代ギリシャやヘレニズムへと続くが、「紀元後七世紀にイスラム教徒による征服が始まるまで中世の世界のほとんどの地域において久しく忘れ去られていた」とあつて驚かされる。ギリシャやヘレニズムの科学者たちの業績は、“イスラムの指導者や学者たち”がビザンチン帝国の図書館などを組織的に調べ

て八世紀以降に発見し、それによりイスラム帝国では“並外れた知的、芸術的、科学的な進歩”が数世紀間続いたという。

例えば、ペルシャ出身のアル・ハワーリズミーは八世紀に活躍した“傑出した”数学者で、“アルジェブラ”(algebra 代数)の用語は彼が作り、“アルゴリズム”は彼の名前に由来している。彼はそれらの“背後にある概念を確立した”のだそうだ。しかし、「西洋の学者たちは、少なくとも六世紀という長期間にわたって、イスラムが比較を絶した活力によって文化的、商業的な勢力を保っていたという事実があるにもかかわらず、ほとんどの学生にヨーロッパ中心的な方向づけによって中世史を教えてきた」と著者は書いている。

その後の経過は、数年前に読んだ『ヨーロッパとイスラム世界』(高山博著)の記述が分かりやすいので、それから引用する。

「イスラーム教徒支配下にあったイベリア半島のトレドは、一〇八五年にキリスト教徒により征服され、十二世紀には西ヨーロッパの学問の中心となつた」という。そことシチリアのパレルモでは“大量の”「ギリシア語やアラビア語の書物がラテン語に翻訳され」、「ラテン・カトリック文化圏」の知識人たちはその写本や訳本を求めてイベリア半島やシチリアを訪ね、学んだ知識をフランスやイギリスに持ち帰って、「『十二世紀ルネサンス』と呼ばれる西ヨーロッパの大文化活動を引き起こす」ことになった。

ターナー氏の本に戻ると、著者はそれらの「知の遺産から衝撃的な影響を受けたヨーロッパの学者たちは、(中略)彼らの世界観を一新させないわけにはいかなかった」と書いて

いる。「西洋キリスト教世界に対するイスラムの文化的な影響は、建築から動物学に至るありとあらゆる分野に及んでいた」のだという。そして、「イスラムの科学者によって達成された知の明晰化、革新、改良がなかったとしたら、中世末期からルネサンス初期にかけて西洋世界において新たな道筋をたどるようになった科学的な学問分野のほとんどは、現在のような形において発達することはできなかったに違いない」とも。

第三章「ルーツ—古代文明とイスラムの科学」の冒頭には、「科学の系譜は、きわめて複雑に入り組んでいる」と書いてあったが、上述した流れをまとめてみると次のようになるだろう。

エジプトやバビロニアで発達した“科学的探究のプロセス”⇒ 古代ギリシャやヘレニズムによる継承と忘却 ⇒ イスラム帝国による発見と“並外れた知的、芸術的、科学的な進歩”⇒ キリスト教徒による西ヨーロッパへの“輸入”⇒ 新大陸やアジアの“西洋化”と“グローバル化”

“きわめて複雑に入り組ん”だ“科学の系譜”は現在の“グローバル化”にたどり着いて、ここでは素粒子物理学や遺伝学のように“要素還元”化された“科学”が我々に“進歩”をもたらすと同時に、周知のとおり種々の問題をも突き付けているという流れが“分かった”ように思えて、整理して記録化するために、本誌からの依頼を好機とここで文章にしてみた。『アラビア科学の歴史』(ダニエル・ジャカール著、吉村作治監修、遠藤ゆかり訳)という本もあり、こちらは図版がカラーで美しい。

日本歴代ベストセラーランキング

このページでは、日本の歴代ベストセラー本をランキング形式にまとめました。
あなたが読んだことのある本は何冊ランクインしていますか？

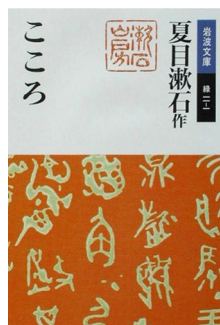
第1位 窓ぎわのトットちゃん / 黒柳徹子 800.0万部

「きみは、本当は、いい子なんだよ！」小林宗作先生は、トットちゃんを見かけると、いつもそういった。「そうです、私は、いい子です！」トモエ学園の個性を伸ばすユニークな教育と、そこに学ぶ子供たちをいきいきと描いた感動の名作。



第2位 こころ / 夏目漱石 701.0万部

「私」は、鎌倉の海で出会った「先生」の不思議な人柄に強く惹かれ、関心を持つ。「先生」が、恋人を得るため親友を裏切り、自殺に追い込んだ過去は、その遺書によって明らかにされてゆく。近代知識人の苦悩を、透徹した文章で描いた著者の代表作。



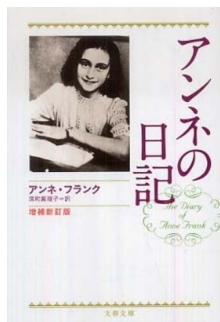
第3位 人間失格 / 太宰治 657.4万部

この主人公は自分だ、と思う人と、そうでない人に、日本人は二分される。「恥の多い生涯を送って来ました」。そんな身もふたもない告白から男の手記は始まる。男は自分を偽り、人を欺き、取り返しようなない過ちを犯し、「失格」の判定を自らにくだす。でも、男が不在になると、彼を懐かしんで、ある女性は語るのだ。「とても素直で、よく気がきいて（中略）神様みたいないい子でした」と。ひとがひととして、ひとと生きる意味を問う、太宰治、捨て身の問題作。



第4位 アンネの日記 / アンネ・フランク(著)深町 真理子(訳) 600.0万部

自分用に書いた日記と、公表を期して清書した日記—「アンネの日記」が2種類存在したことはあまりにも有名だ。その2つを編集した“完全版”に、さらに新たに発見された日記を加えた“増補新訂版”が誕生した。ナチ占領下の異常な環境の中で13歳から15歳という思春期を過ごした少女の夢と悩みが、より瑞々しくよみがえる。



第5位

永遠の0

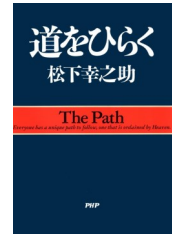
百田尚樹 / 546.0万部



第6位

道をひらく

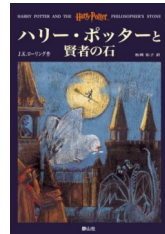
松下幸之助 / 520.0万部



第7位

ハリーポッターと賢者の石

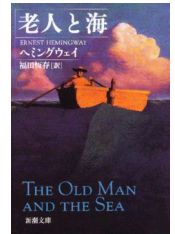
J.K.ローリング / 510.0万部



第8位

老人と海

ヘミングウェイ / 482.3万部



第9位

五体不満足

乙武洋匡 / 479.3万部



第10位

バカの壁

養老孟司 / 439.3万部



※ランキングは<https://yume-hakobune.com/best-seller-book-japan/>を参照

※表紙画像は<https://www.kinokuniya.co.jp/>より引用

編集後記

図書委員長 HI4 原 菜摘

くぬぎの森 第30号をお届けします。今号では、ブックハンティングで選んだ本をたくさん紹介しています。掲載しているもの以外にも様々なジャンルの本が新しく入りましたので、お気に入りの一冊がきっと見つかると思います。ブックハンティングに参加していただいた先生方ならびに学生の皆さん、ありがとうございました。それぞれの本についての紹介文は、各クラスの図書委員の皆さんに協力して書いていただきました。そして図書館長である村上先生には、本にまつわるエピソードを綴っていただきました。また昨年に引き続き、校内読書感想文コンクールの入選作品を紹介しています。最優秀作品については全文を掲載しておりますので是非読んでみてください。校内読書感想文コンクールにご応募いただいた皆さん、ありがとうございました。来年度もたくさんのご応募お待ちしております。

最後に、1年間図書委員の仕事をサポートしていただいた図書館の織田さん、くぬぎの森制作に協力していただいた村上先生、そして図書委員の皆さんに心より感謝申し上げます。今号を読んで少しでも本に興味を持っていただき、図書館へ来館される方が増えたら嬉しいです。

図書館統計(平成30年1月～12月)

(平成31年1月15日現在)

入館者数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	3,766	3,802	1,422	3,424	3,890	4,780	4,803	2,586	1,332	3,173	4,741	2,068	39,787

蔵書数	和書	洋書	合計
	64,726	4,037	68,763

日本十進分類法(NDC)	0総記	1哲学	2歴史	3社会科学	4自然科学	5技術,工業	6産業	7芸術,美術	8言語	9文学	その他	合計
分野別貸出冊数	514	207	59	222	490	490	39	207	2,366	906	171	5,671

月別貸出冊数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1年生	19	54	30	37	55	31	21	48	13	47	29	44	428
2年生	61	68	39	32	47	30	30	56	19	51	35	50	518
3年生	187	58	36	268	166	272	250	183	36	253	205	202	2,166
4年生	39	45	29	73	87	82	53	112	10	65	39	90	724
5年生	47	57	28	87	86	63	54	60	8	68	43	66	667
専攻科1年	33	28	40	40	39	22	11	14	4	14	16	26	287
専門科2年	34	9	1	49	43	40	37	17	9	12	11	8	270
教職員	65	56	35	58	26	58	72	79	52	66	65	118	750
一般利用者	12	7	10	10	12	2	11	15	5	15	12	15	126
合計	497	382	248	654	561	600	539	584	156	591	455	619	5,886

2018年貸出数ランキング

(平成31年1月7日現在)

文芸書編

順位	書籍名	回数
1	作曲少女:平凡な私が14日間で曲を作れるようになった話/仰木日向	11
2	図書迷宮/十字静	8
3	本を守ろうとする猫の話/夏川草介	7
3	かがみの狐城/辻村深月	7
3	僕はロボットごしの君に恋をする/山田悠介	7
3	ふたご/藤崎彩織	7

資格試験等テキスト編

順位	書籍名	回数
1	新TOEIC TEST出る単特急金のフレーズ/TEX加藤	50
2	TOEIC L&Rテストはじめてでも600点が取れる!/山根和明,ピエール・ノビノ	45
3	Duo 3.0: The most frequently used words 1600 and idioms 1000 in contemporary English/鈴木陽一	35
4	TOEICテスト公式問題集:新形式問題対応編/Educational Testing Service	32
5	英語耳:発音ができる&リスニングができる/松澤喜好	30